

平成21年11月12日

薩摩川内市長 岩切 秀雄 殿

薩摩川内市自治総合審議会
会長 若松 隆久



第1次薩摩川内市総合計画基本構想（案）に対する意見について
（答 申）

平成21年9月24日付け薩企政第774号で諮問のあった事項については、十分審議を重ねた結果、おおむね適切であると判断したので、別紙の意見を付して、ここに答申します。

なお、簡潔で分かりやすい表現に心掛けるとともに、意味の分かりづらい用語等については注釈を付ける等、文言整理されたい。

また、誤字訂正及び文言整理等については、一任します。

(別紙)

- ・我が国の社会経済情勢の記載及び今後の総合計画策定に当たっては、政権交代による国の政策の動向等を注視しつつ適切に反映されたい。
- ・人口減少は市政に大きな影響を与えることから、厳しい状況であることを表現化されたい。
- ・最高規範である自治基本条例の基本理念に従ってまちづくりを進めていくことをより明確に表現されたい。
- ・原子力発電所3号機及び産業廃棄物最終処分場の問題については、市政運営及び施策事業に影響があることから、今後の推移を見極め、適切に対処されたい。
- ・ゴールド集落対策は、喫緊の課題であることから、重点的に取り組まれるとともに“活力と豊かさを感じるゴールド集落”の創出に向けた総合的な対策を早急に講じられたい。
- ・地域特性を活かし、市民が住むことに誇りを持ち、若者や子育て世代をはじめ、各年代層にとっても魅力あるまちづくりを推進されたい。
- ・九州新幹線や南九州西回り自動車道の高速交通体系の整備が、定住促進や観光ルートの確立につながる施策を検討されたい。
- ・自治会未加入者の割合が年々増加していることから、自治会の加入率を高めるための具体的取組について早急に検討されたい。